

留 学 報 告 書

記入日:2015年7月15日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	ハンガリー
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エトヴェシュ・ロラード大学 現地言語: EÖTVÖS LORÁND TUDOMÁNYEGYETEM
留学期間	2014年9月～2015年7月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Social Sciences(社会科学部)
帰国年月日	2015年7月3日
明治大学卒業予定年	2017年3月



4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学と寮が大分離れていると思ったので、初めからアパートにしましたが、ブダペストは交通機関が便利なので問題なく寮から通える範囲に大学があります。なので、まずは寮に入り、その後メンターなどの助けを借りながらアパートを探しても遅くないと思います。アパートは1年契約してしまうと出たくてもなかなか出られません、寮は1か月毎に宿泊代と光熱費を支払うので融通が利きます。

信頼できる会社などを仲介にして、アパートを探し始めることをお勧めします。私は大学の Welcome letter に記載されていたうちの1つを利用しましたが、対応が杜撰かつ賃貸者に不利なように話を進められ、損をしてしまいました。私の知識不足も原因の1つですが、契約内容やその他の手続きについて、自分が納得するまではっきりした返事をしないようにして下さい。(一度"Yes"と言ってしまうと、その後何を言っても取り合って貰えませんでした)

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

メンター(留学中、自分をサポートしてくれるハンガリー人の学生)や彼女に紹介してもらった在在の日本人の方、また両親に相談しました。自分の学部の International Coordinator にも相談しましたが、学外のことではあまり助けになりませんでした。大学に一応相談窓口はありましたが、利用する機会がありませんでした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

ブダペストは比較的治安は良いですが、現地の人から注意するよう言われた場所には夜遅く出歩かないようにしていました。また、貴重品などは必ず自分の手前で持つことをお勧めします。一度腰の横辺りで身に付けていた鞆から携帯が抜き取られたことがあります(すぐに気付いたので取り返せました)、それ以降常に携帯品に気を配っていました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。
(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アパートには Wifi があり、市内もカフェやショッピングセンター、レストランなどに Wifi があり、外出中もインターネットを利用できました。(マクドナルドやバーガーキングがたくさんあるので、店外からでもアクセスできます)
また、大学でも Wifi があるのでインターネットを利用できますが、接続が悪いことが多いです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

予め日本の新生銀行で口座を作り、現地では ATM で現金を下ろしていました。
24時間利用できる ATM がたくさんあるので、引き下ろしに問題はありません。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特にないです。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:在学継続

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。
(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

1年間で得られるものはたくさんあります。周りと比較するのではなく、自分なりのペースで様々な課題をこなしていって下さい。また、同じ時期に留学する学生同士で励まし合うのもいいと思います。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
57 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Hungarian for Erasmus Students	ハンガリー語講座
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities
履修期間	2014 年度秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(語学)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Orsolya Temesvari
授業内容	基本的なあいさつや日常会話、文法など
試験・課題など	授業最終日に総まとめテスト
感想を自由記入	簡単なレベルだが、ハンガリー生活に役立った。 習ったことを日常生活で実践できる場面があるので、興味のある人は履修してもよいと思う。しかし、日本人学生は Erasmus ではないので、別途授業料を払う必要がある。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
History of Sociology I	社会学史 I
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	2014 年度秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Eszter Pal
授業内容	社会学の理論や学説を学ぶ ディスカッションあり
試験・課題など	学期中にプレゼンを行い、授業最終日に筆記試験(授業で扱った社会学的理論の説明など)
感想を自由記入	異なる社会学者の視点を学ぶことで、それぞれの時代における考え方や、現代にも応用できる観点などを学ぶことができた。東洋とは異なる文化圏で発達した理論が多かったため、面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporary Challenges for the Hungarian Society	ハンガリー社会における現代問題
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	2014 年度秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	毎週異なる教授
授業内容	ハンガリー社会が抱える問題(マイノリティー、選挙制度、ジェンダーなど)について、毎週専門の教授が講義を行う
試験・課題など	授業で扱ったトピックから 1 つ選択し、エッセイを提出する
感想を自由記入	歴史を反映した社会問題、日本との共通点や相違点を考えることができ、非常にためになった。ハンガリー人学生数は少なかったが、他の留学生が多くいたため、ハンガリーだけでなく、各国の話も聞くことができ面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The European Union's Social Dimension	EUの社会的特性
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	2014年度秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Istvan Sziklai
授業内容	前半は教授がEUについて講義し、後半は各生徒がトピックを1つ選択し、クラス内でプレゼンを行い、その後全員でディスカッションする
試験・課題など	授業内のプレゼン
感想を自由記入	EUの様々な取り組み(教育、雇用、移民など)について政策と現状を比較することで、EUを考える上での視点が変わった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Stalinism and Nazism: Dictatorship in Comparison	スターリニズムとナチズム:独裁政治の比較
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities
履修期間	2014年度秋学期
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Eszter Bartha
授業内容	スターリン、ナチスドイツ支配が社会にどのように影響を与えたのか考察する ディスカッションあり
試験・課題など	授業内のプレゼンと、プレゼンのテーマに沿ったエッセイを提出する
感想を自由記入	各政府の宣伝活動や思想統制の影響の大きさに衝撃を受けた。 また、クラス内にロシア出身の学生もいたので、彼らの自国分析が印象的だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporary Issues of EU Politics: Governance and Policy-making	EU政治の現代問題:統治と政策
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	2014年度春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Veronika Czina
授業内容	EUの仕組み、取り組み、問題を多角的視点から考察する ディスカッションあり
試験・課題など	授業内のプレゼン、学期末エッセイ
感想を自由記入	クラスの9割がヨーロッパの学生だったので、授業のディスカッションについていくのが大変だった。一方、EUに対して肯定的だけでなく否定的な意見が出るなど、EU加盟国の学生がどのようにEUを見ているのか実際に聞くことができ興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Relation(IR) and the Far East	国際関係とアジア
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	2014 年度春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Akos Kopper
授業内容	国際関係に関する論文を読み、授業内でディスカッションする
試験・課題など	2 枚のポジションペーパーを提出
感想を自由記入	西洋の学生による東洋に対する考が面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporary Constitutional Politics	現代立憲政治
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	2014 年度春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Kriszta Kocacs
授業内容	トピックに関する文献を読み、プレゼンを聴き、ディスカッションする
試験・課題など	授業内のプレゼンテーション
感想を自由記入	憲法と人権の関係性や、各国での基準の違いを考えることで、日本のケースを今までとは異なる目線で考えられるようになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Anthropology II	文化人類学
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	2014 年度春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(時にディスカッション)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Saba Tesfay
授業内容	アフリカやアジアを中心に人類学について学ぶ(結婚、家族、社会基盤など) 毎週指定の文献を読む
試験・課題など	学期末にエッセイを提出する
感想を自由記入	各文化圏の生活形態や慣習などの違いが印象的だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Roma in Hungary	ハンガリーのロマ
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	2014 年度春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Anna Csongor
授業内容	ハンガリーにおけるロマ問題(教育、社会保障、労働など)
試験・課題など	授業内のプレゼンテーション
感想を自由記入	ロマについてほとんど知識がなかったが、日本ではあまり頻繁取り上げられない問題だったので新鮮だったと同時に、日本の移民政策に興味を持つようになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Speaking Your Mind	
科目設置学部・研究科	Faculty of Humanities
履修期間	2014 年度春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Philip Saltmarsh
授業内容	生徒がピックを選び授業を行い、他の学生はディスカッションに参加する
試験・課題など	1 つの授業を担当する
感想を自由記入	90 分間全て自分が仕切るため、非常に難しかった。ディスカッションを導くだけでなく、基本的な情報も組み込む必要があるため、事前の準備に苦労した。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sustained Dialogue and Public Deliberation: Methods of Conflict Resolution	持続的対話と公的審議:紛争解決方法
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Sciences
履修期間	2014 年度春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー、ワークショップ
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Agnes Kover
授業内容	※3~5 月は月 1 回 7 時間のワークショップ形式 持続的な対話、民間レベルでの対談をどのように導いていくのか、ケーススタディを参照しながらディスカッションを行う。
試験・課題など	授業内のプレゼンテーションを学期末のエッセイ
感想を自由記入	話し合いという場面で必要な姿勢、要素は何か、対話を効率的かつ発展させるための手法を自分で考えていくプロセスが面白く、有益だった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は簡条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	
4月～7月	入学 授業
8月～9月	語学の勉強(TOFLE 対策) 海外留学の手引きなどで情報収集
10月～12月	語学の勉強 TOFLE 受験 協定留学選考
2014年 1月～3月	協定留学参加学生向けのオリエンテーション ハンガリー、また留学先大学に関する情報収集 語学の勉強
4月～7月	留学先大学に出願し、入学許可書を取得 ビザの申請や航空券の購入、銀行口座の開設、住居など必要事項の手続き 語学の勉強
8月～9月	語学の勉強 渡航 留学先大学におけるオリエンテーション 履修及び授業開始
10月～12月	他大学におけるボランティア活動 書道クラブのサポート プラハ旅行 秋休み 期末試験及び課題提出 クリスマス休暇
2015年 1月～3月	試験期間及び休暇 春学期開始 他学部におけるボランティア活動 書道クラブのサポート
4月～7月	春休み 他学部におけるボランティア活動 書道クラブのサポート 試験期間及び課題提出 帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと思った理由	日本を出て様々な経験を通して自分の視野を広げるとともに、英語力を高めたいと思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	これまでも多くの学生が感じたことだと思いますが、語学力を少しでも上げて行くことに越したことはありません。特に日本に比べ、授業内での発言が当たり前という認識があるため、スピーキングを練習していくと良いと思います。また、授業内でディスカッションすることが多いので、社会問題や国際関係などについて自分の意見をしっかりと述べられる力があると、より充実した時間を送れるでしょう。
この留学先を選んだ理由	海外留学は語学・学業だけでなく、その国の歴史や文化に触れることができる時間なので、自分の興味がある国を探した結果、ハンガリーが最適だと判断しました。また、ハンガリーは EU 加盟国でもあり、EU が実際加盟国にどのような影響を与えているのか、加盟国の人々による EU の評価などにも興味があり、こうした内容を含む授業が開講されているのが魅力的でした。
大学・学生の雰囲気	大学はいくつかのキャンパスに分かれており、私が主に通ったキャンパスは中心から少し離れた場所にあり、芝生などもあったため、とても過ごしやすい環境でした。しかし、日本の大学のような大きな食堂はなく、小さなカフェテリアしかなかったため少し不便でした。留学生向けの授業に限りがあったこともあり、留学生とハンガリー学生の交流はあまり盛んではありませんでした。一方、学生団体が留学生のためにイベント企画などをしてくれ、交流の場を設けてくれました。
寮の雰囲気	アパートに住んでいました。
交友関係	留学生同士でも交流はお互い履修が異なる場合が多く、あまり多くありませんでした。一方、日本語学科のボランティアに参加する機会がたくさんあったので、ハンガリー人学生と話したり、遊んだりすることができました。その際ハンガリーの歴史や文化などに触れることができ、日々楽しく過ごすことができました。また、伝統料理を振る舞い合いながら文化交流もできました。
困ったこと、大変だったこと	大学外で英語が通じない場面が多々あり、特に当初は買い物に苦労しましたが、慣れれば 1 人でもこなせます。しかし、銀行や携帯ショップなどは特定の場所に行かないと英語での対応を受けることができません。アパートを借りたのですが、代理の人々とのコミュニケーションがうまく取れず、とても苦労しました。日本とは異なり、連絡の返事がとても遅く、物事を処理するのにかなり時間と労力を要するので、忍耐力が求められました。文化や価値観の違いに様々な場面で直面し、受け入れられることや我慢できることもあります。やはり納得できないこともあり、気持ちを落ち着かせるのが大変でした。
学習内容・勉強について	一つ一つの授業をしっかりと受けたかったので、科目数を絞って履修しました。当初は授業内容を聞き取ることが難しく、授業後自分で調べ直しとめる作業をしていました。時間がかかることでしたが、試験や授業中の解説と繋がり、大切な時間だったと思います。また、エッセイを書く時は、他の留学生の観点や教授のアドバイスがとても参考になりました。
課題・試験について	私が履修した授業の大半は試験ではなく、日々の授業貢献が重要視されました。そのため、授業内の発言が一番苦労しました。また、授業前に読まなければならない文献が多く、間に合わせるのが大変でしたが、授業数を絞っていたので何とかついて行けました。秋学期より春学期の方が課題が多かったものの、毎週新しい知識が入ってくるのが楽しく、やりがいを感じる事ができたので充実した時間になりました。
大学外の活動について	大学外で知り合ったハンガリー人や日本人の友達と郊外に旅行に行ったり、週末にパーティーをしたりしました。また、なでしこ会という在住日本人の方々によるボランティア団体に参加し、他大学のボランティアに行きました。
留学を志す人へ	どこに留学しようが、成果は自分次第です。自分がなぜ留学に行きたいのか、目的と目標をしっかりと持って下さい。日本では通用することが海外では通用しないことがたくさんあります。わかっているにもかかわらずという境遇にあった時はとまどい、ストレスになってしまおうと思いますが、そういうことも自分を成長させる試練だと思えば大丈夫です。自分をしっかりと持つことで、留学は何倍も実りあるものになります。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	自習や課題	自習や課題				課外活動	自習や課題
	授業	授業	授業	授業	授業	課外活動	自習や課題
午後	授業	授業	授業	授業		自習や課題	自由時間
	自習	授業	自習や課題	自習や課題		自習や課題	自由時間
夕刻	自由時間	課外活動	自由時間	課外活動	課外活動	自由時間	自由時間
夜	予習	予習	予習	自由時間	自由時間	自由時間	予習



ELTE キャンパス内



ELTE イベント Euro Dinner にて



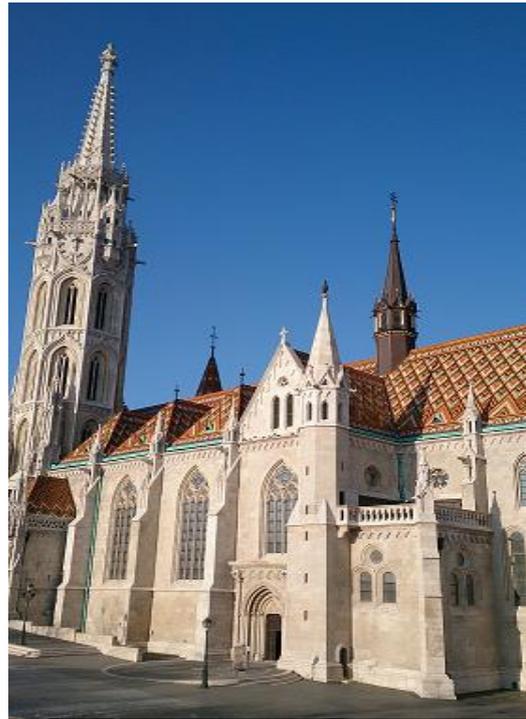
バロン湖、シオフォークで



ブダペストのケーキ屋さんで



自由橋(ペスト側から)



マーチャーシュ教会



ハンガリー国立歌劇場(オペラ座)



ブダペストの夜景(マルギット橋から)